

自己評価結果公表

学校法人大阪聖マリア学園
 認定こども園
 枚岡カトリック幼稚園

1. 本園の教育目標

キリスト教的人間観に基づき、乳幼児の個性を尊重し、適当な環境を与えて、心身共に健康で調和の取れた発達を助長する。

2. 29年度、重点的に取り組む目標・計画

幼保連携型認定こども園としてのスタートの年となる。1歳児から就学前の子どもたちの発達の連続性を職員全員が十分に認知し、一人ひとりの成長に合わせた環境を整えていく。
 また、小学校や地域との連携も図り、開かれた施設づくりを目指す。

3. 評価目標の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
教職員のスキルアップ	<ul style="list-style-type: none"> ・本園の建学の精神を損なわないよう、特に信仰教育の要請に力を入れた。 ・幼児クラスの教員も1.2歳クラスの保育見学をすることにより、1.2歳の子どもの育ちについて観察できる場を設けた。
職員間の連携	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の増加やシフト勤務により、口頭での伝達では全体に周知できない場面も増えたため、記録ノートを活用した。 ・また、教職員全員参加の研修が難しくなったため、様々な工夫をし進めているが今後も課題とする。
成長に合わせた環境設定	<ul style="list-style-type: none"> ・園舎建て替えに伴い、各学年に合わせた備品の設定は出来た。 ・また、月に一度の研修により、子どもたちが一人で出来るような環境設定の享受を受けたことで、教職員一人ひとりが環境構成には工夫を凝らしている。 ・1・2歳児においてはモンテッソーリ教育ディプロマ持つ保育教諭による環境構成が設定されており、子どもたちが自由選択を行いながら活動をしている。
安全確保	<ul style="list-style-type: none"> ・9月より、警備員も配置し特に登降園時の安全対策には力を入れた。 ・1・2歳児の安全な園庭確保が次年度への課題となっている。
保護者・地域への発信	<ul style="list-style-type: none"> ・制度が変わっての初年度で、発信の重要性を改めて考えさせられた。 ・次年度入園希望者に関しては子育てサロンなどを利用し、教育内容を伝えた。
情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・掲示板などには情報を開示してきた。HPの十分な活用が出来なかった。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

29年度、幼保連携型認定こども園としての初年度であったため、教職員も様々な工夫を凝らしながら進めてきた。保護者の方にも、役員の皆様方を中心に大きな協力を頂きながら進めた一年であった。しかし、様々な変更について十分な情報が保護者の方に届いていなかったため、情報発信において十分な評価がいただけていない。また、教職員の増加により、教職員間の連絡事項にも十分な配慮が必要となった。

目標としていた、1歳児から就学前の子どもたちの発達の連続性については、保育見学を行うことでそれぞれの育ちについて理解することができた。

小学校との連携においては、子どもと一緒に訪問する機会を作り自然なつながりが生まれている。

5. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
教職員の スキルアップ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 専門リーダーの配置により、経験のある教員が専門分野において研鑽し、園内においてリーダーシップを発揮していく。 ・ 昨年度に引き続き、1歳～就学前の発達段階を踏まえ、子どもたちが自ら進んで物事を行えるような環境の研究と実践を行う。 ・ 教職員一人ひとりがカトリックの教えを継承するものとしての自覚を持ち、研修などに参加する
職員間の連携	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学年リーダーを配置し定期的に学年間の話し合いを行う。 ・ 聖書や詩などの分かち合いを行い、それぞれの思いや考えを尊重し合える関係を構築する。 ・ 報告、連絡を徹底する。
安全確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 乳児の安全な園庭改築 ・ 安全リーダーを配置し、園内の安全環境について発信を行う ・ 不審者対策に対する職員の研修を行う
子どもの自立に 向けた環境構成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1歳から就学前の子どもたちの発達の連続性を踏まえ、一人ひとりに合わせた環境設定を研究し実践する。 ・ 子ども主体で、子ども自身が自ら考え、選び、活動できるよう室内・園庭の環境を整える。 ・ 長時間保育の子どもたちの部屋は安心して過ごせるよう家庭的な雰囲気の一部屋作りを行う
保護者・ 地域との連携・ 情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校との連携を引き続き行う ・ 子育てサロンは認知されたが、育児相談などにも力を入れ地域の方にも利用しやすく告知していく。 ・ HPの更新の回数を増やし、情報伝達のツールとして活用する

◎ 30年度、重点的に取り組む目標・計画

昨年度からの課題を踏まえ、教職員間の連携と、保育を必要とする子どもたちへの十分な配慮に力を注ぐ。環境整備においては園庭、駐輪所の確保として土地の取得と1・2歳児のための安全な園庭の整備を計画中である。

今年度教育目標

- ・ 神さまに愛されていることを知り安心して過ごす子ども
- ・ 進んで挨拶のできる子ども
- ・ 言葉で伝えることができる子ども

◎ 30年度の評価項目

・ 教職員のスキルアップ ・ 教職員間の連携 ・ 安全確保 ・ 子どもの自立に向けた環境設定
・ 保護者、地域との連携、 情報発信

6. 学校関係者の評価

学校評価は適正に行われていると思います。
30年度の取り組み目標、計画を達成できる事を望みます。